



Leaf

平成21年6月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 沼里 進

盛岡赤十字病院医療連携だより No.17

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



地域医療の懸け橋としての緩和ケアに

院長 沼里 進



さて、地域の皆さまからも長い間、切なる要望のございました、「緩和ケア病棟」が、お陰様をもちまして、5月18日開業の運びとなりました。これもひとえに、岩手医科大学関係者各位からの力強いご支援と、各医師会の皆様をはじめコメディカルの皆様のご賛同があったればこそと、深く感謝申し上げる次第であります。

当院の緩和ケア医療は、名誉院長川村隆夫先生の作詞である「愛の看取り」に表現されている「私たちは人道と博愛の精神（こころ）をもって、心温まる全人的医療に努める」という理念なしに語ることはできません。

四季折々の鮮やかな景観の中での心身一如の医療を念願し、岩手山と北上川を借景とする建物造りにその心血をそそいでこれ、それを実行されたからであります。そして、あたかも、この地に「緩和ケア病棟」の建設が運命づけられていたかのような、心安らぐ趣のある庭園（逍遙遊庭）と水辺を設けられたことは、まさにその先見の明の確かさに敬服するのみであります。

このような礎を受け継ぎ、緩和ケア病棟建設への具体的な一歩を進められたのは、前院長の利部輝雄先生でありました。先生のリーダーシップの下、平成17年には「がん性疼痛ガイドライン」を制定し、平成18年7月には病院機能評価の認定を受けました。その後、緩和ケア検討委員会を立ち上げ、外部研修や講師招聘による勉強会も数多く開催した事により、飛躍的に緩和ケア病棟建設の機運が高まりを見せ、この度の竣工に至りましたことは感慨深いものがあります。

緩和ケアは医療人の独善的考え方のみでは機能しないことは勿論であります。私どもがこうした過程で学んだことは、周りの人々との懸け橋をつくり、そこから共感する心を持つことの大切さでありました。

このように、私としては、平成19年4月の院長就任以来、歴代の優れたリーダーの識見に学び、赤十字の使命である災害医療と救急医療だけではなく、地域の皆さまの要請に応じて、「緩和ケア医療」が地域医療の懸け橋として機能できるように願い、決意を新たにしているところであります。

つきましては、緩和ケア病棟はひとり盛岡赤十字病院のものではなく、皆さまとともに育んで参る所存ですので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



盛岡赤十字病院「緩和ケア病棟」竣工によせて

副院長兼緩和ケア科部長 旭 博 史



盛岡赤十字病院では、地域の要望に応え、昨年、敷地内に病棟設立整備計画をまとめ、2月に日赤岩手県支部（支部長・達増知事）の評議員会で承認されました。その後、建設は順調に進み本年4月に竣工の運びとなりました。本号が出る頃には病棟には患者様をお迎えしてお世話させて頂いていると思います。病棟は敷地内にあり、平屋建て全室個室で22床です。北に日本庭園（逍遙遊庭）東に北上川を望み、緑に囲まれ、自然豊かで、癒しの場としてふさわしい環境に恵まれています。

患者さまとご家族が、やすらぎを覚える生活の場であり、いわば「もう一つの我が家」として心の支えの場所となるように考えております。この3年間、緩和病棟建設委員長を務めてまいりましたが、緩和ケア科開設にあたり、緩和ケア科部長に任命されました。私と馬場祐康の2名の医師が専従として診療を担当します。さらに、看護師、薬剤師、保健師、MSW、管理栄養士、理学療法士などをメンバーとしたチーム医療を推進してまいります。

緩和ケア病棟開設が地域医療連携を深め、役割分担を強化することで、地域全体の医療の質が向上すると期待されます。関係の皆様のご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。





緩和ケア病棟の開設に向けて ―赤十字のこころを地域に―

副院長兼地域医療連携室長 村 井 啓 子

この度、当院に「自分の家に居るようなくつろいだ居室」をコンセプトとする緩和ケア病棟を開設することが出来ました。地域の皆さまからこころ待つの声も多かったこの病棟を開設できたことは、わたくしたち職員にとってもよきことと、こころから御礼申し上げます。周囲を緑の樹木が蔽い朝には野鳥がさえずり前庭には大きな鯉が数十匹もゆったりと泳ぐ様子は日常の喧騒から離れゆったりと時の流れるのを感じることが出来ることでしょう。私たちは『赤十字のこころ』を胸にみなさまをお迎えし、職員一同こころを込めお世話させていただきます。今後とも、地域の皆さまのお役に立てる様、努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。入棟をご希望される方、緩和ケアについてのご相談は、緩和ケア外来又は、緩和ケア相談室にお気軽にご連絡ください。



緩和ケア病棟竣工によせて

副院長兼医療安全推進室長 松 田 壯 正

常日頃大変お世話になりありがとうございます。
主として悪性腫瘍患者様の苦痛や悩みをできるだけ和らげ人生の質を向上させ、ご自分らしい日々を過ごしていただくよう体制がととのいました。緩和ケア専門の医師、がん看護専門看護師を含む看護師、薬剤師、栄養士、ボランティアなどが中心となり、チームで患者様とご家族を支援いたします。患者様の負担になるような治療や処置は行いません。新築の緩和ケア病棟は独立して、緑に囲まれた別荘のような感じさえあります。

関係各位のご協力のもと、赤十字の「博愛」の精神にふさわしい医療が行えると自負しております。入院を希望される患者様をご紹介いただくと大変うれしく存じます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



緩和ケア病棟設置にあたって

事務部長 佐々木 利 雄

国のがん対策の取り組みが進展しておりますが、日本における疾病別の死亡率ではがんによる死亡が最大で、岩手県においても年間死亡者の3人に1人はがんで亡くなっております。がんの対策は予防、早期発見早期治療、高度な集学的治療のための施設の整備が極めて重要ですが、がんで亡くなる方々への対応も重要な課題であります。

岩手県における緩和ケア病棟は県立磐井病院に24床、平成21年4月1日に開院した県立中部病院にも24床設置されましたが、高度医療を求めて患者が集中する盛岡医療圏には孝仁病院の10床のみで、専門病棟の整備が望まれていたところであります。

このような地域社会のニーズの中にあって当院が人道・博愛の赤十字の使命に則した理念の基に、将来展望に立って課題となっている終末期医療に係る施設として緩和ケア病棟を設置し、緩和ケアを必要とされている患者さまやご家族に添えていこうとするものであります。



地域の皆様と共に

看護部長 北 村 和 子

患者さまや、地域の先生方、関係諸団体の方々に待たれていました緩和ケア病棟を開設することになりました。開設にあたっては、緩和ケア病棟を持つ赤十字病院での研修や、がん事業推進の各研修を受講しながら準備を重ね、地域の方々に公開の研修やネットワークづくりも努力しています。皆様のご支援をいただき実現いたしました。御礼申し上げます。

緩和ケア病棟は、痛みを軽減して患者様やご家族が可能な限り快適な生活が送られるように病室は全室個室に、また立地条件を生かし庭院や周囲の緑地や病棟の設備や空間が、できるだけ日常生活に近い環境であるように工夫しています。ケアにおきましても生活面の援助が大変重要になりますので、患者さま自身の生活をどのように守るか多職種間協働でケアを行います。

今でこそ国のがん事業の一環ですが、看護の現場ではターミナルケアに悩みは尽きず各部署で学習し、関連部門の参加を求めてきた経緯があり、そのいくつかの課題が緩和ケア病棟開設で解決されることを願っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



「緩和ケア病棟」竣工にあたり

緩和ケア科副部長 馬 場 祐 康

このたび、日赤岩手県支部（支部長：達増知事）の御尽力を賜り、また、関係各位の皆様方のお力添えを頂き、緩和ケア病棟が竣工いたしました。「緩和ケア」は、患者様の痛み、苦しさ、心の問題などの「つらさ」に焦点をあて、また御家族をも含めた、全人的なアプローチによって、スタッフ一同がチームとなり支援を行うものです。その実践の場が「緩和ケア病棟」であり、また、治療が困難になった場合でも、最後までその人らしく、尊厳をもって過ごしていただけるよう、支援していく病棟です。まだ全国に193施設、計3770床ほどしかありません。当院では「人道・博愛の赤十字精神にもとづき、患者さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意により、QOLの向上に努めます。」を基本理念とし、患者様、御家族が、やすらぎを持って、生活できる「もう一つの我が家」をイメージし、自然環境を活かした、院内独立型の個室22床の病棟を建設しました。当院各診療科のほか、地域の医療施設と連携をとりながら、患者様、御家族の支援をさせていただく所存でありますので、ご協力をお願いいたします。



正面玄関から受付



一般病床(全個室)



特別室



ご家族控室



ホール



食堂・ラウンジ



特別室



ナースステーション



周囲の景観

緩和ケア外来と緩和ケア相談室のご案内

緩和ケア外来

- ◇診 察 日：毎週、水曜日・金曜日の2回
- ◇診療時間：午後1時～5時
- ◇診 察 室：1階総合診療センター内、「緩和ケア外来」
- ◇受診方法：
 - ① 新患・再来とも完全予約制です。
 - ② 外来予約は、お電話で外来看護師が対応いたします。
 - ③ 初診の場合は、主治医からの紹介状をご持参願います。

緩和ケア相談室

緩和ケア外来日以外は、「緩和ケア相談室」にて、ケースワーカー、保健師がご相談をお待ちいたしておりますので、お気軽に電話相談またはご来院ください。

電話：019-637-3111 内線：338
ご相談受付時間：午前9時～午後4時

新任医師紹介



第二外科部長 川 村 英 伸（平成21年4月採用）

平成元年岩手医大卒の21年目、川村英伸といいます。出身は、ここの医療圏でもある矢巾町です。こんなに近いのに、意外にも盛岡赤十字病院に勤務するのは初めてです。これまでに岩手医大を拠点に、さまざまな病院に勤務する機会があり地域独自の医療を経験することができました。専門は、消化器外科、特に肝胆膵外科、内視鏡外科、鼠径ヘルニアなどです。趣味は映画鑑賞、旅行、ジョギングなどです。今までの経験を生かしがんばっていきたいと思います。



眼科副部長 濱 端 久仁子（平成21年4月採用）

初めまして。眼科の濱端久仁子です。略歴：H8盛岡一高卒、H15秋田大学卒、H15.4～京都府立医科大学眼科入局、H17.9～岩手医科大学眼科入局H21.4より眼科外来を再開致しましたが、医大の眼科医局への応援の都合で、当病院の眼科外来も週3回、完全予約制となります。医大では、斜視、弱視（小児眼科）再来を専門にしております。外来体制で、皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。



第二整形外科部長 薄 井 知 道（平成21年4月採用）

4月から盛岡日赤病院へ転任してまいりました整形外科の薄井です。岩手医科大学を平成3年に卒業し、岩手医大、県立久慈病院、岩手労災病院、鶯宿温泉病院、県立北上病院勤務を経て、このたび盛岡日赤病院勤務となりました。趣味はスポーツ全般で最近はゴルフとテニスを少々嗜んでおります。まだまだ若輩者ですがよろしくお願いします。



循環器科副部長 中 島 悟 史（平成21年4月採用）

平成21年4月から勤務させていただいております。平成15年に岩手医科大学を卒業後は岩手医科大学第二内科に入局し、循環器医療センター、県立釜石病院等の勤務を経て、昨年は1年間と短い期間でしたが、岩手医科大学救急センターに勤務していました。盛岡赤十字病院は、県央部の救急指定病院としての役割と、地域医療との両方を担っていると実感しております。まだまだ未熟者であり、院内、院外の諸先生方には、ご迷惑をおかけする事が多々あるかと思いますが、今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願いいたします。出身地：群馬県



消化器科部長 藤 原 隆 雄（平成21年4月採用）

4月より消化器内科に勤務しております。盛岡生まれ盛岡育ち。平成5年に弘前大学を卒業後、岩手医科大学第一内科（現・消化器肝臓内科）に入局し、現在まで主に岩手県内の各病院に勤務していました。消化器内科の中でも、内視鏡が好きな分野であり、日々進歩している治療内視鏡の技術をできるだけ確実に習得し、発揮できることを目標としています。



小児科医師 戸 田 博 之（平成21年4月採用）

初めまして、戸田博之と申します。経歴を簡単に申し上げますと、平成17年金沢大学卒業後、2年間県立北上病院にて初期研修を終了、その後岩手医科大学小児科に入局いたしました。今年から当院で勤務させていただくとなりました。高野先生、泉山先生、田中先生のご指導の下、がんばりますのでよろしくお願いいたします。現在の1番の楽しみは、今年の3月に産まれたばかりの長男の相手をする事です。



耳鼻咽喉科部長 佐 藤 尚 徳（平成21年4月採用）

平成21年4月1日より耳鼻咽喉科に勤務しております。出身地は八幡平市です。平成7年に岩手医科大学を卒業し岩手医大、県立中央病院、鹿角組合病院、八戸赤十字病院などで勤務してきました。盛岡は5年ぶりとなります。がんばりますのでよろしくお願いいたします。



整形外科医師 山 部 大 輔（平成21年4月採用）

4月より整形外科に着任しました山部大輔と申します。岩手医科大学を卒業後、盛岡赤十字病院にて初期研修を修了し、春からは整形外科医師として診療を行うこととなりました。整形外科医としての臨床経験はまだまだ浅く、多々ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願いいたします。平成19年卒



外科副部長 藤 澤 健 太郎（平成21年4月採用）

この度4月より岩手医科大学外科学講座より赴任してまいりました。卒後10年目になります。これまでは大腸外科を専門にしておりました。ちょうど10年目での新任地ですが、当科では最年少ですので、また新人の気持ちで診療にあたりたいと思っています。先生方には多方面で大変お世話になります。よろしくお願いいたします。



退職いたしました

永 野 雅 英（循環器科副部長） 平成21年3月31日付
徳 永 高 也（整形外科副部長） 平成21年3月31日付
小 川 雅 彰（外科副部長） 平成21年3月31日付
佐 藤 正 義（整形外科医師） 平成21年3月31日付

秋 山 孝 輝（内科医師） 平成21年3月31日付
塚 原 みほ子（産婦人科副部長） 平成21年4月30日付

お世話になりました